

タグ・ホイヤー オウタヴィア ファーストシリーズと  
現行モデルを徹底比較  
クロノス日本版

# Chronos

7月号  
JULY  
第77号  
2018.06.077

[連載コミック]  
腕時計  
パラノイア列伝  
第25回  
「アントニー・デ・ハスと  
グランドコンプリケーション」

別冊付録

オーデマピゲ  
ロイヤル オーク オフショア  
誕生25年のクライマックス

[TEST ドイツ版翻訳記事]

ウブロ  
「ビッグ・バン メカ-10  
チタニウム」  
オリス  
「オリス クロノリス  
デイト」



[2018年版]  
世界の  
ウォッチパーソン  
紳士録

2018年新作詳報Part 2

バーゼル・アライヴ!!



# オリジナルムーブメントに続き トゥールビヨンも新規開発

気鋭のムーブメントサプライヤー、テロスとのパートナーシップにより  
独自のムーブメント開発に乗り出したメカニケ・ヴェローチ。  
今年はいよいよ独自のトゥールビヨンまで発表するに至った。  
オリジナルムーブメント「MV8802」搭載機の国内上陸も目前だ。

Text by Hiroyuki Suzuki

## アイコン トゥールビヨン

テロスと共同開発された自社製トゥールビヨン。昨年発表されたCal. MV8802をベースに、トゥールビヨンキャリッジを組み込んでいる。自動巻き (Cal. MV8880)。2万8800振動/時。パワーリザーブ約40時間。18KPGまたはTi (共に直径49.0mm)。5気圧防水。18KPG: 予価1100万円、Ti: 予価700万円(今冬発売予定)



新

Watch  
The  
New

鋭



## アイコン

旧クアトロヴァルヴォレの意匠を受け継ぐフラッグシップコレクション。2017年からはテロスと共同開発したオリジナルムーブメントにスイッチ。ETAをベースとする一体型ムーブメントだが、4タイムゾーン分の表示・調整機構を備えるため、総パーツ数は370パーツにも及ぶ。写真のダイヤルは「ナイトライト」。自動巻き (Cal. MV8802)。50石。2万8800振動/時。パワーリザーブ約40時間。Ti (直径49.0mm)。5気圧防水。予価88万円。

# MECCANICHE VELOCI

2006年に創業したメカニケ・ヴェローチが、いよいよ見通すことのできないブランドに変貌しつつある。モーターズスポーツ好きのイタリア人が起ち上げた同社は、4バルブのシリンドラーヘッドを模したケースに、4つのスモールムーブメントを搭載した「クアトロヴァルヴォレ」が代表作。だがコンセプトやデザインは良いのだが、造りがやや甘いというイタリアンプロダクトの典型でもあった。その評価が好転したのは拠点 をジュネーブに移した11年以降。「アイコン」と名を変えたメインモデルはケースや針の造り込みが格段に良くなり、高級時計に見合うクオリティが伴ってきた。そんな同社は昨年、ついに自社製ムーブメントを共同開発。今年には自社製トゥールビヨンまで発表したのである。

共同開発のパートナーとなったのは、ラ・ショー・ド・ウォンのテロス。ハリ・ウィンストンの「オーバス14」や、モンブランの「タイムライター」メタモルフォシスを手掛けたフランク・オルニー、ジョニー・ジラルダンのふたりが興した工房だ。アイコンが搭載する「MV8802」は、ETA製のパーツを多用するものの、ひとつの地板に4つの時分表示を設けた、れっきとした一体型ムーブメント。個別に時刻設定が行えるほか、セント1秒針を4時位置ダイヤルに、デイト表示を2時位置ダイヤルに設けている。面白いのは、デイトディスクの駆動を担うのは、10時位置ダイヤルの輪列であることだ。今年追加された「アイコントゥールビヨン」も、基本は同一。セント1秒針のあった4時位置ダイヤルにそのまま、キャリッジを設けている。まずは外装のクオリティを高め、次にムーブメントの独自性を突き詰める。新生メカニケ・ヴェローチの採ったアプローチは実に堅実だ。積み上げられてきたクオリティは、今まさに華開こうとしている。